

コーディネーター分類表

コーディネーター項目		主な内容	回答欄 1:該当 2:非該当
経済	1.医療保障システムの説明	医療保障に関する諸制度の具体的な内容紹介や、利用方法・申請方法等の紹介、説明など	v.47
	2.公費制度に関するコーディネーター	特定疾患、更生医療・育成医療等の公費制度の検討、申請等に関するコーディネーター	v.48
	3.高額療養費に関するコーディネーター	高額療養費の検討、申請、委任払いなどに関するコーディネーター	v.49
	4.身体障害者手帳に関するコーディネーター	身障手帳の検討、取得、等級変更、障害名の追加、再交付等に関するコーディネーター	v.50
	5.医療費助成に関するコーディネーター	市町村の障害者医療費助成制度等の検討、申請、適用などに関するコーディネーター	v.51
	6.医療保険の変更等に関するコーディネーター	老人医療の適用、医療保険の変更に伴う諸手続き、医療保険の取得などに関するコーディネーター	v.52
	7.その他の医療費関連のコーディネーター	上記1～6以外の医療費関連コーディネーター	v.53
	8.生活保護に関するコーディネーター	生活保護の検討、申請、保護受給中の諸問題、廃止などに関するコーディネーター	v.54
	9.病者・障害者の所得保障システムの説明	傷病手当金、障害年金、各種手当等や、公的貸付制度等の紹介、説明など	v.55
	10.年金に関するコーディネーター	障害年金等の申請検討、等級変更、諸手続きなどに関するコーディネーター	v.56
	11.その他の経済関連コーディネーター	上記8～10以外の経済関連コーディネーター	v.57
療養生活の環境整備	12.通院に関するコーディネーター	介助者の確保や院内外の調整など、通院サポート・システムのコーディネーター	v.58
	13.在宅ケア諸制度に関するコーディネーター	家事援助、介護、福祉機器、住居の改造など在宅サポート・システムのコーディネーター	v.59
	14.入院中の療養環境整備に関するコーディネーター	入院中の心理的・社会的環境整備に関するコーディネーター	v.60
	15.受診・受療・入院・退院・転院等に関するコーディネーター	当該病院や他の医療機関、福祉施設などへの受診・受療・入院・転院等に関するコーディネーター	v.61
心理的対応	16.コーディネーターに伴う、心理的レベルにおける対応	面接の技法を用いた対応や、人間関係の調整など	v.62
その他	17.その他のコーディネーター	上記1～16以外のコーディネーター	v.63

上の表で、「コーディネーターを行なった項目」（「1」と記入した項目）の
総数をご記入下さい。

v.64
項目

6 社会資源について

6-1 活用中の社会資源

ケースにおいて、コーディネート開始時すでに活用中の社会資源の項目すべてについて、「表：社会資源」の回答欄『6-1 活用中』に、「活用している項目」は「1」、「活用していない項目」は「2」とご記入下さい。

なお、選んだ項目（「1」と記入した項目）の総数をご記入願います。

	項目 v.88
--	------------

6-2 検討した社会資源

コーディネートの開始から終了までの間に検討した社会資源の項目すべてについて、「表：社会資源」の回答欄『6-2 検討』に、「検討した項目」は「1」、「検討しなかった項目」は「2」とご記入下さい。

なお、選んだ項目（「1」と記入した項目）の総数をご記入願います。

	項目 v.112
--	-------------

6-3 新たに加わった社会資源

コーディネートの開始から終了までの間に新たに加わった社会資源の項目すべてについて、「表：社会資源」の回答欄『6-3 新規』に、「加わった項目」は「1」、「加わらなかった項目」は「2」とご記入下さい。

なお、選んだ項目（「1」と記入した項目）の総数をご記入願います。

表：社会資源

	項目 v.136
--	-------------

社会資源の種類		回答欄		
		6-1 活用中	6-2 検討	6-3 新規
フォーマルな 社会資源	1.身体障害者手帳	v.65	v.89	v.113
	2.特定疾患、更生医療等の公費制度	v.66	v.90	v.114
	3.市町村の医療費助成制度	v.67	v.91	v.115
	4.高額療養費制度	v.68	v.92	v.116
	5.その他の医療費関連の諸制度	v.69	v.93	v.117
	6.高齢年金	v.70	v.94	v.118
	7.障害年金	v.71	v.95	v.119
	8.傷病手当金	v.72	v.96	v.120
	9.各種手当	v.73	v.97	v.121
	10.生活保護	v.74	v.98	v.122
	11.福祉機器の交付	v.75	v.99	v.123
	12.福祉機器のレンタル	v.76	v.100	v.124
	13.市町村の在宅介護（ホームヘルプサービス）	v.77	v.101	v.125
	14.訪問入浴	v.78	v.102	v.126
	15.配食サービス	v.79	v.103	v.127
	16.訪問看護	v.80	v.104	v.128
	17.デイケア・デイサービス	v.81	v.105	v.129
	18.短期入所（ショートステイ）	v.82	v.106	v.130
	19.その他のフォーマルな社会資源	v.83	v.107	v.131
インフォーマルな 社会資源	20.家族・親戚・友人・知人・近隣等	v.84	v.108	v.132
	21.個人契約の民間の在宅介護 （ホームヘルプサービス）	v.85	v.109	v.133
	22.ボランティア	v.86	v.110	v.134
	23.その他のインフォーマルな社会資源	v.87	v.111	v.135

7 コーディネートの対象者

コーディネートの対象者について、「コーディネートの対象者」の回答①の欄に該当項目を1、非該当項目を2とご記入下さい。

項目によっては、回答②の欄に7ページの別表から該当項目を選びご記入願います。

表：コーディネートの対象者

対象者の種類		回答①	回答②の記入方法	回答②		
患者・家族	患者本人	v.137	回答②に記入の必要なし			
	家族・親戚	v.138	「表：家族・親戚」の該当項目から選択し、複数の場合は主たる対象者から順に3名まで記入する	1) v.151	2) v.152	3) v.153
院内の対象者	医師	v.139	「表：診療科目」から医師の所属診療科を選択し、複数の場合は主たる医師から順に3名まで記入する	1) v.154	2) v.155	3) v.156
	看護婦	v.140	「表：看護婦所属」から選択し、複数の場合は主たる看護婦から順に3名まで記入する	1) v.157	2) v.158	3) v.159
	医事課職員	v.141	回答②に記入の必要なし			
	他の院内職員	v.142	「表：保健医療関係者」から選択し、複数の場合は主たる職種から順に3名まで記入する	1) v.160	2) v.161	3) v.162
院外の対象者	行政：高齢障害等	v.143	自治体保健福祉担当者。「表：高齢障害等」から選択し、複数の場合は主たる者から順に3名まで記入する	1) v.163	2) v.164	3) v.165
	行政：生活保護	v.144	自治体の生活保護担当者。回答②に記入の必要なし			
	行政：その他	v.145	上記2種以外の自治体の窓口担当者。「表：行政窓口」から選択し、複数の場合は主たる者から順に3名まで記入する	1) v.166	2) v.167	3) v.168
	市町村の在宅介護	v.146	ヘルパー等市町村管轄のホームヘルプサービス関係者。回答②に記入の必要なし			
	民間の在宅介護	v.147	患者が個人的に契約している民間ホームヘルプサービス団体や業者およびそのヘルパー。回答②に記入必要なし			
	他の医療機関	v.148	老人保健施設を含む他の保健医療機関の関係者。「表：保健医療関係者」から選択し、複数の場合は主たる者から順に3名まで記入する	1) v.169	2) v.170	3) v.171
	福祉施設	v.149	福祉施設の関係者。「1:老人福祉施設の関係者」「2:障害児者福祉施設の関係者」とし、複数の場合は主たる者から順に2名まで記入する	1) v.172	2) v.173	
	その他	v.150	上記以外の対象者。「表：その他の対象者」から選択し、複数の場合は主たる者から順に3名まで記入する	1) v.174	2) v.175	3) v.176

回答①について、該当対象者（「1」と記入した項目）の総数をご記入願います。

v.177
項目

< 6 ページの回答②に記入の際、参照する表 >

表：家族・親戚

1. 夫	2. 妻	3. 息子	4. 娘	5. 父	6. 母
7. 兄弟	8. 姉妹	9. 息子の妻	10. 娘の夫	11. 孫	
12. 孫の配偶者	13. 祖父	14. 祖母	15. その他 ()		

表：診療科目

1. 内科	2. 呼吸器科	3. 消化器科 (胃腸科)	4. 循環器科
5. 小児科	6. 精神科	7. 神経科	8. 神経内科
9. 外科	10. 整形外科	11. 形成外科	12. 美容外科
13. 脳神経外科	14. 呼吸器外科	15. 心臓血管外科	16. 小児外科
17. 産婦人科	18. 産科	19. 婦人科	20. 眼科
21. 耳鼻いんこう科	22. 気管食道科	23. 皮膚ひ尿器科	24. 皮膚科
25. ひ尿器科	26. 性病科	27. 肛門科	28. リハビリテーション科
29. 放射線科	30. 麻酔科	31. 歯科	32. 矯正歯科
33. 小児歯科	34. 心療内科	35. アレルギー科	36. リウマチ科
37. 歯科口腔外科			

表：看護婦所属

1. 外来	2. 病棟	3. 手術室	4. 訪問看護	5. その他
-------	-------	--------	---------	--------

表：保健医療関係者

1. MSW (医療機関に所属する社会福祉士を含む)	2. PSW (精神保健福祉士を含む)
3. 医師	4. 歯科医師
5. 看護婦	6. 医療機関の事務職員
7. 理学療法士	8. 作業療法士
9. 臨床工学士	10. 薬剤師
11. 放射線技師	12. 臨床検査技師
13. 栄養士	14. 臨床心理士
15. 視能訓練士	16. 言語聴覚士
17. 保健婦	18. 助産婦
19. 老健施設の相談指導員	20. 義肢装具士
21. 保母	22. 上記以外の保健・医療・福祉関連職種 ()

表：高齢障害等

1. 高齢福祉	2. 障害者福祉	3. 精神福祉	4. 児童福祉	5. 母子福祉
6. その他 ()				

表：行政窓口

1. 医療保険 (老人医療を含む)	2. 医療助成	3. 年金	4. その他 ()
-------------------	---------	-------	------------

表：その他の対象者

1. 職場関係者	2. 学校関係者	3. 友人・知人	4. 近隣
5. ボランティア	6. その他の対象者 ()		

8 コーディネートの手段と所要時間

A 対話

A1 面接

- ・ M プロジェクトにおける「面接」の対象は患者や家族（保健・医療・福祉サービス利用者）とします。それ以外の院内外ケース関係者は面接対象にカウントしないで下さい。
- ・ M プロジェクトにおける「面接」とは、MSW が面接の技法を用いて対応した場合を指します。

① 面接の最長時間（分）について

面接で最も長時間だったものは何分間でしたか。 分間 v.178

その面接について、対象者を 14 ページの「表：面接・面談対象者」から選び、ご記入下さい。その際、面接対象者が複数だった場合は、主たる対象者から順に 3 人まで記入願います。

1 2 3
v.179 v.180 v.181

その面接対象者が複数だった場合、上記回答の対象者を含めて 人
全部で何人でしたか。 v.182

② 面接の最短時間（分）について

面接で最も短時間だったものは何分間でしたか。 分間 v.183

その面接について、対象者を 14 ページの「表：面接・面談対象者」から選び、ご記入下さい。その際、面接対象者が複数だった場合は、主たる対象者から順に 3 人まで記入願います。

1 2 3
v.184 v.185 v.186

その面接対象者が複数だった場合、上記回答の対象者を含めて 人
全部で何人でしたか。 v.187

③ 面接回数について

コーディネートの開始から終了までに面接を何回行ないましたか。 回 v.188

A2 面談

- ・ M プロジェクトにおける「面談」の対象は患者や家族（保健・医療・福祉サービス利用者）とします。それ以外の院内外ケース関係者は面談対象にカウントしないで下さい。
- ・ M プロジェクトにおける「面談」とは、MSW が面接の技法を意識せずに対応した場合を指します。

① 面談の最長時間（分）について

面談で最も長時間だったものは何分間でしたか。 分間 v.189

その面談について、対象者を 14 ページの「表：面接・面談対象者」から選び、ご記入下さい。その際、面談対象者が複数だった場合は、主たる対象者から順に

3人まで記入願います。

1 2 3
v.190 v.191 v.192

その面談対象者が複数だった場合、上記回答の対象者を含めて
全部で何人でしたか。 v.193 人

② 面談の最短時間（分）について

面談で最も短時間だったものは何分間でしたか。 分間 v.194

その面談について、対象者を14ページの「表：面接・面談対象者」から選び、
ご記入下さい。その際、面談対象者が複数だった場合は、主たる対象者から順に
3人まで記入願います。

1 2 3
v.195 v.196 v.197

その面談対象者が複数だった場合、上記回答の対象者を含めて
全部で何人でしたか。 v.198 人

③ 面談回数について

コーディネートの開始から終了までに面談を何回行ないましたか。 回
v.199

A3 打ち合わせ

- ・Mプロジェクトにおける「打ち合わせ」の対象は、院内職員および院外のケース関係者とします。患者・家族は打ち合わせ対象にカウントしないで下さい。
- ・Mプロジェクトにおける「打ち合わせ」とは、MSWが対象者に会い、ケースについて依頼、報告、諸連絡、情報交換、協議、検討などを行なった場合を指します。

① 打ち合わせの最長時間（分）について

打ち合わせで最も長時間だったものは何分間でしたか。 分間 v.200

その打ち合わせについて、対象者を14ページの「表：打ち合わせ対象者」から
選び、ご記入下さい。その際、打ち合わせ対象者が複数だった場合は主たる対象
者から順に5人まで記入願います。

1 2 3 4 5
v.201 v.202 v.203 v.204 v.205

その打ち合わせ対象者が複数だった場合、上記回答の対象者を含めて
全部で何人でしたか。 v.206 人

② 打ち合わせの最短時間（分）について

打ち合わせで最も短時間だったものは何分間でしたか。 分間 v.207

その打ち合わせについて、対象者を14ページの「表：打ち合わせ対象者」から
選び、ご記入下さい。その際、打ち合わせ対象者が複数だった場合は主たる対象
者から順に5人まで記入願います。

1 2 3 4 5
v.208 v.209 v.210 v.211 v.212

その打ち合わせ対象者が複数だった場合、上記回答の対象者を含めて
全部で何人でしたか。 v.213 人

③ 打ち合わせ回数について

コーディネートの開始から終了までに
打ち合わせを何回行ないましたか。

回 v.214

B 電話

B1 電話の受信

① 電話受信の最長時間 (分) について

電話の受信で最も長時間だったものは何分間でしたか。
その電話受信の対象者を 14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」
から 1人 選び、ご記入下さい。

v.215
分間

v.216

② 電話受信の最短時間 (分) について

電話の受信で最も短時間だったものは何分間でしたか。
その電話受信の対象者を 14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」
から 1人 選び、ご記入下さい。

v.217
分間

v.218

③ 電話受信の回数について

コーディネートの開始から終了までの電話受信は何回でしたか。

回

v.219

B2 電話の送信

① 電話送信の最長時間 (分) について

電話の送信で最も長時間だったものは何分間でしたか。
その電話送信の対象者を 14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」
から 1人 選び、ご記入下さい。

v.220
分間

v.221

② 電話送信の最短時間 (分) について

電話の送信で最も短時間だったものは何分間でしたか。
その電話送信の対象者を 14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」
から 1人 選び、ご記入下さい。

v.222
分間

v.223

③ 電話送信の回数について

コーディネートの開始から終了までの電話送信は何回でしたか。

v.224

回

C FAX

C1 FAX の受信

① MSW への FAX 発信者について

コーディネートの開始から終了までに MSW にくた FAX の発信者について、
14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」から選び、ご記入下さい。

発信者が複数の場合は、主たる発信者から順に 5 人まで記入願います。

1 2 3 4 5
v.225 v.226 v.227 v.228 v.229

発信者が複数だった場合、上記回答の発信者を含めて
全部で何人でしたか。

人
v.230

② FAX の受信回数について

コーディネートの開始から終了までの FAX 受信回数は何回ですか。

v.231 回

C2 FAX の送信について

① FAX 送信先について

コーディネートの開始から終了までに MSW が FAX を送った送信先について、
14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」から選び、ご記入下さい。

送信先が複数の場合は、主たる送信先から順に 5 人まで記入願います。

1 2 3 4 5
v.232 v.233 v.234 v.235 v.236

送信先が複数だった場合、上記回答の送信先を含めて
全部で何人でしたか。

人
v.237

② FAX の送信回数について

コーディネートの開始から終了までの FAX 受信回数は何回ですか。

回
v.238

D 文書

D1 文書の作成

- ・M プロジェクトにおける「文書の作成」とは、依頼状、報告書、説明文書、手紙、パンフレットなどの作成、文書の代筆等を指します。

① 文書作成の最長時間（分）について

文書作成に関わった最長時間は何分間でしたか。

分間 v.239

その文書の対象者について、14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」から選
び、ご記入下さい。その際、対象者が複数だった場合は主たる対象者から順に 5 人
まで記入願います。

1 2 3 4 5
v.240 v.241 v.242 v.243 v.244

その文書対象者が複数の場合、上記回答の対象者を含めて全部で
何人でしたか。

人
v.245

② 文書作成の最短時間（分）について

文書作成に関わった最短時間は分間でしたか。

分間 v.246

その文書の対象者について、14 ページ「表：電話・FAX・文書の対象者」から選
び、ご記入下さい。その際、対象者が複数だった場合は主たる対象者から順に 5 人
まで記入願います。

1 v.247 2 v.248 3 v.249 4 v.250 5 v.251
 その文書対象者が複数の場合、上記回答の対象者を含めて
 全部で何人でしたか。 人
 v.252

③ 文書作成の回数について v.253 通
 コーディネートの開始から終了までに文書を何通作成しましたか。

D2 文書の受信

コーディネートの開始から終了までに文書を何通受け取りましたか。 通 v.254

送られてきた文書に関わった時間（文書を読んだり、内容について検討したりするのに要した時間）は合計何分間でしたか。 分間 v.255

D3 文書の送信

コーディネートの開始から終了までに文書を何通送信しましたか。 通 v.256

文書を送るのに要した時間は合計何分間でしたか。 分間 v.257

E 記録

・記録の手段や方法は MSW によって様々だと思いますが、M プロジェクトでは「コンピュータによる記録（メモを含む）」と「手書きによる記録（メモを含む）」とに分類しました。

・記録の手段について該当項目を選び、ご記入下さい。

1. コンピュータ（ワープロを含む）と手書きを併用
2. コンピュータ（ワープロを含む）のみ
3. 手書きのみ

v.258

・1 方法のみ用いている場合は、以下の質問で、用いない方法の回答欄①～③すべてに「-1」とご記入願います。

・2 方法とも用いている場合は、以下の E1、E2 すべての回答欄にご記入下さい。

E1 コンピュータによる記録（記録をコンピュータで行なった場合）

① 入力 最大値（分）について 分間 v.259
 入力に要した時間の最大値は何分間でしたか。

② 入力 最小値（分）について 分間 v.260
 入力に要した時間の最小値は何分間でしたか。

③ 入力 総所要時間について 分間 v.261
 コーディネートの開始から終了までの入力所要時間は合計何分間でしたか。

E2 手書きによる記録（記録を手書きで行なった場合）

- ① 手書き 最大値（分）について 分間 v.262
 手書きに要した時間の最大値は何分間でしたか。
- ② 手書き 最小値（分）について 分間 v.263
 手書きに要した時間の最小値は何分間でしたか。
- ③ 手書き 総所要時間について 分間 v.264
 コーディネートの開始から終了までの手書き所要時間は合計何分間でしたか。

F 移動

このケースにおいて、コーディネートのために院外へ出向いたことがありますか。

1. はい 2. いいえ v.265
 ← 次の質問①、②、③へ進む

- ① 移動の回数について 回 v.266
 コーディネートの開始から終了までに、院外へ出向いたのは何回ですか。往復で1回とカウントし、回数をご記入下さい。
- ② 移動先について
 移動先について、下表の回答欄に該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

移動先	回答欄 1:該当 2:非該当	移動先	回答欄 1:該当 2:非該当
1. 市町村役場・区役所 (保健センター等を含む)	v.267	8. 患者の自宅	v.274
2. 社会保険事務所	v.268	9. 在宅介護支援センター	v.275
3. 保健所	v.269	10. 訪問看護ステーション	v.276
4. 病院	v.270	11. 職場	v.277
5. 診療所	v.271	12. 学校	v.278
6. 老人保健施設	v.272	13. その他	v.279
7. 福祉施設 (障害者・老人・児童等)	v.273		

- ③ 移動の所要時間について 分間 v.281
 複数の出先に移動した場合、合計何箇所に移動しましたか。移動先の総数（回答欄に「1」と記入した項目数）をご記入下さい。
- ③ 移動の所要時間について 分間 v.281
 コーディネートの開始から終了までのあいだ、移動に合計何分間費やしましたか。

< 7～11 ページの回答に記入の際、参照する表 >

表：面接・面談対象者

1. 患者本人	2. 夫	3. 妻	4. 息子	5. 娘	6. 父
7. 母	8. 兄弟	9. 姉妹	10. 息子の妻	11. 娘の夫	
12. 孫	13. 孫の配偶者	14. 祖父	15. 祖母	16. その他 ()	

表：打合せ対象者

1. MSW (医療機関に所属する社会福祉士を含む)	2. PSW (精神保健福祉士を含む)
3. 医師	4. 歯科医師
5. 看護婦	6. 医療機関の事務職員
7. 理学療法士	8. 作業療法士
9. 臨床工学士	10. 薬剤師
11. 放射線技師	12. 臨床検査技師
13. 栄養士	14. 臨床心理士
15. 視能訓練士	16. 言語聴覚士
17. 保健婦	18. 助産婦
19. 相談指導員 (老健施設・特養ホーム)	20. 義肢装具士
21. 保母	
22. 自治体の高齢福祉担当者	23. 自治体の障害福祉担当者
24. 自治体の精神福祉担当者	25. 自治体の児童福祉担当者
26. 自治体の母子福祉担当者	27. 自治体の生活保護担当者
28. 自治体の医療保険担当者	29. 自治体の医療助成担当者
30. 自治体の年金担当者	31. 自治体の年金担当者
32. その他の行政担当者 ()	33. 職場関係者
34. 学校関係者	
35. 友人・知人	36. 近隣
37. ボランティア	38. その他 ()

表：電話・FAX・文書の対象者

1. 患者本人	2. 夫	3. 妻	4. 息子	5. 娘	6. 父
7. 母	8. 兄弟	9. 姉妹	10. 息子の妻	11. 娘の夫	
12. 孫	13. 孫の配偶者	14. 祖父	15. 祖母		
16. MSW (医療機関に所属する社会福祉士を含む)	17. PSW (精神保健福祉士を含む)				
18. 医師	19. 歯科医師	20. 看護婦	21. 医療機関の事務職員		
22. 理学療法士	23. 作業療法士	24. 臨床工学士	25. 薬剤師		
26. 放射線技師	27. 臨床検査技師	28. 栄養士	29. 臨床心理士		
30. 視能訓練士	31. 言語聴覚士	32. 保健婦	33. 助産婦		
34. 相談指導員 (老健施設・特養ホーム)	35. 義肢装具士	36. 保母			
37. 自治体の高齢福祉担当者	38. 自治体の障害福祉担当者				
39. 自治体の精神福祉担当者	40. 自治体の児童福祉担当者				
41. 自治体の母子福祉担当者	42. 自治体の生活保護担当者				
43. 自治体の医療保険担当者	44. 自治体の医療助成担当者				
45. 自治体の年金担当者	46. 自治体の年金担当者				
47. その他の行政担当者 ()	48. 職場関係者	49. 学校関係者			
50. 友人・知人	51. 近隣	52. ボランティア	53. その他 ()		

F コーディネートの評価（ケースごとの個票）

この調査票は、コーディネート終了後に回答、記入していただくものです。

1 コーディネートにおける困難について

以下の質問に、調査票 E（コーディネートの内容）4 ページの「表：コーディネート分類」に示されているコーディネート項目を参照してお答え願います。

1-1 「経済関連のコーディネート」における困難について

経済関連のコーディネートの過程で、何か困難なことがありましたか。 v.1

1. あり : 質問1-1-1へ進む
2. なし : 質問1-2へ進む
3. このケースで経済関連のコーディネートは行なわなかった : 質問1-2へ進む

1-1-1 「経済関連のコーディネート」における困難は、制度上の問題によるものでしたか

1. はい v.2
 質問1-1-2 および1-1-3へ進む
2. いいえ v.2
 質問1-1-4へ進む

1-1-2 「経済関連のコーディネート」における制度上の問題の内容（複数選択可）

下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

制度上の問題に関する項目	回答欄 1:該当 2:非該当
1. 制度利用上、所得などの制限があつて利用が困難だった	v.3
2. 制度の内容そのものが不十分だったので、利用が困難だった	v.4
3. その他の制度上の問題 ()	v.5

複数の項目に該当した場合は、該当項目の総数を記入願います。 v.6
項目

**1-1-3 「経済関連のコーディネート」における制度上の問題について、
どう対応しましたか（複数選択可）**

下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

対応の項目	回答欄 1:該当 2:非該当
1. 患者や家族の交渉を後押しした	v.7
2. 患者や家族の代弁者となって、担当機関に交渉した	v.8
3. 制度の拡大解釈を求めた	v.9
4. 専門化集団に提起して、運動化を図った	v.10
5. 患者集団に働きかけた	v.11
6. その制度に代わる私的なサービスを探して、患者や家族に提供した	v.12
7. 相互の話し合いの場を設定した	v.13
8. なにもしなかった	v.14
7. その他の対応 ()	v.15

上の表で複数の項目に該当選択した場合は、該当項目の総数
(回答欄に「1」と記入した項目総数)をご記入願います。

 v.16
項目

1-1-4 「経済関連のコーディネート」における困難は、人間関係の問題による
ものでしたか

1. はい
質問 1-1-5
および 1-1-6 へ進む
2. いいえ
質問 1-2 へ進む

 v.17

1-1-5 「経済関連のコーディネート」における人間関係の問題の内容 (複数選択可)
下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

人間関係の問題に関する項目	回答欄
1. サービス提供機関 (者) との人間関係に問題があり、利用が困難だった	v.18
2. 家族との人間関係に問題があり、利用が困難だった	v.19
3. その他の人間関係の問題 ()	v.20

複数の項目に該当した場合は、該当項目の総数を記入願います。

 v.21
項目

1-1-6 「経済関連のコーディネート」における人間関係の問題について、
どう対応しましたか (複数選択可)

下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

対応の項目	回答欄	1:該当 2:非該当
1. 患者や家族の交渉を後押しした		v.22
2. 患者や家族の代弁者となって交渉した		v.23
3. 相互の話し合いの場を設定した		v.24
4. 何もしなかった		v.25
5. その他の対応 ()		v.26

複数の項目に該当した場合は、該当項目の総数を記入願います。

 v.27
項目

1-2 「療養生活の環境整備に関するコーディネート」における困難について

療養生活の環境整備に関するコーディネートの過程で、
何か困難なことがありましたか。

v.28

1. あり : 質問 1-2-1 へ進む
2. なし : 質問 1-3 へ進む
3. このケースで療養生活の環境整備に関するコーディネートは行なわなかった :
質問 1-3 へ進む

1-2-1 「療養生活の環境整備に関するコーディネート」における困難は、
制度上の問題によるものでしたか

1. はい
質問 1-2-2
および 1-2-3 へ進む
2. いいえ
質問 1-2-4 へ進む

 v.29

1-2-2 「療養生活の環境整備に関するコーディネート」における
制度上の問題の内容 (複数選択可)

下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

制度上の問題に関する項目	回答欄 1:該当 2:非該当
1. 制度上の制限があつて、利用が困難だった	v.30
2. 制度の内容そのものが不十分だったので、利用が困難だった	v.31
3. その他の制度上の問題 ()	v.32

複数の項目に該当した場合は、該当項目の総数を記入願います。

 v.33
項目

1-2-3 「療養生活の環境整備に関するコーディネート」における制度上の問題
について、どう対応しましたか (複数選択可)

下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

対応の項目	回答欄 1:該当 2:非該当
1. 患者や家族の交渉を後押しした	v.34
2. 患者や家族の代弁者となって、担当機関に交渉した	v.35
3. 制度の拡大解釈を求めた	v.36
4. 専門化集団に提起して、運動化を図った	v.37
5. 患者集団に働きかけた	v.38
6. その制度に代わる私的なサービスを探して、患者や家族に提供した	v.39
7. 相互の話し合いの場を設定した	v.40
8. なにもしなかった	v.41
7. その他の対応 ()	v.42

複数の項目に該当した場合は、該当項目の総数を記入願います。

 v.43
項目

1-2-4 「療養生活の環境整備に関するコーディネート」における困難は、
人間関係の問題によるものでしたか

1. はい 2. いいえ
 質問1-2-5 質問1-3へ進む
 および1-2-6へ進む

 v.44

1-2-5 「療養生活の環境整備に関するコーディネート」における
人間関係の問題の内容 (複数選択可)

下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

人間関係の問題に関する項目	回答欄
1. サービス提供機関(者)との人間関係に問題があり、利用が困難だった	v.45
2. 家族との人間関係に問題があり、利用が困難だった	v.46
3. その他の人間関係の問題 ()	v.47

複数の項目に該当した場合は、該当項目の総数を記入願います。

 v.48
項目

1-2-6 「療養生活の環境整備に関するコーディネート」における
人間関係の問題について、どう対応しましたか (複数選択可)

下記の項目について、該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。

対応の項目	回答欄	1:該当 2:非該当
1. 患者や家族の交渉を後押しした		v.49
2. 患者や家族の代弁者となって交渉した		v.50
3. 相互の話し合いの場を設定した		v.51
4. 何もしなかった		v.52
5. その他の対応 ()		v.53

複数の項目に該当した場合は、該当項目の総数を記入願います。

v.54
項目

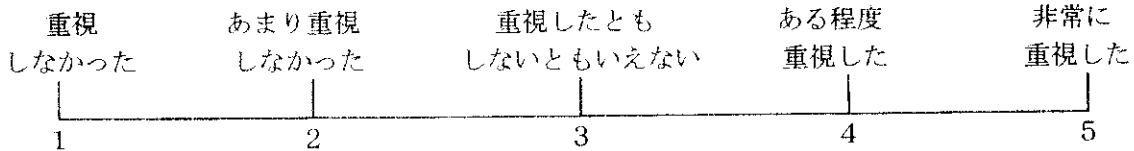
1-3 コーディネートの過程における困難を解決するために

重視した点について

このケースのコーディネート過程における困難を解決するために、MSWとして以下の点をどの程度重視しましたか。該当する番号をご記入下さい。

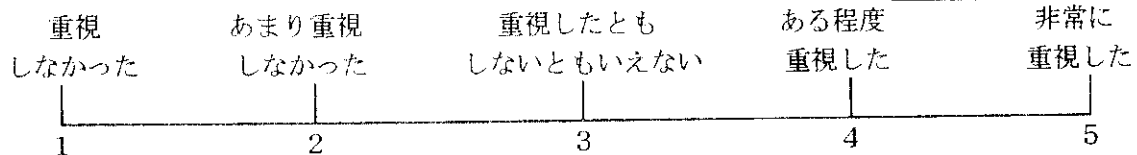
1-3-1 サービス利用者の気持ちを理解すること

v.55



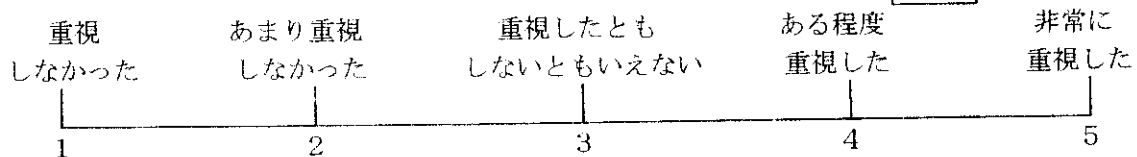
1-3-2 サービス利用者の自己決定をまつこと

v.56

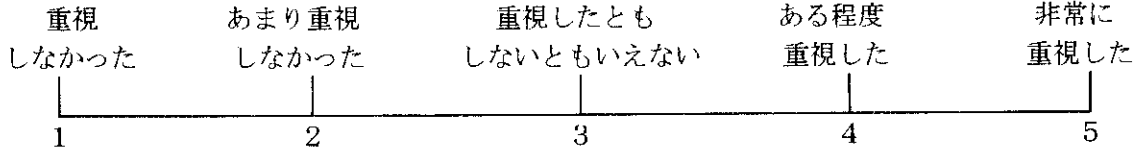


1-3-3 ケース関係者の人間関係を調整すること

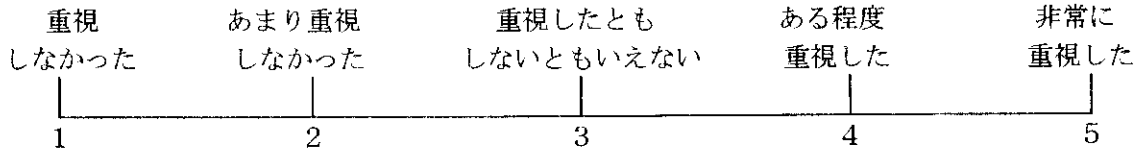
v.57



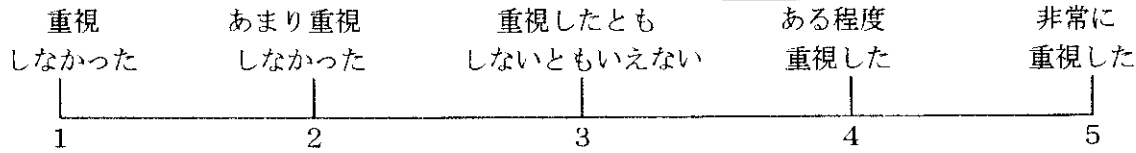
1-3-4 ケース関係者の合意形成を得ること



1-3-5 サービス利用者の代弁者となること

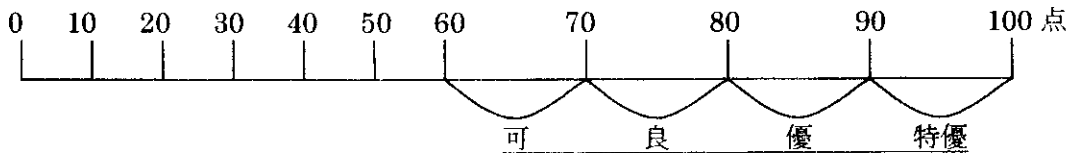


1-3-6 ケース関係者と交渉すること



2 他者から評価を受ける前の時点における、MSW の満足度について

このコーディネートについて、MSW 自身の評価は何点ですか。
 下の評価基準を参考に点数をご記入下さい。点数は端数でも構いません。 点
 (例 83 点)

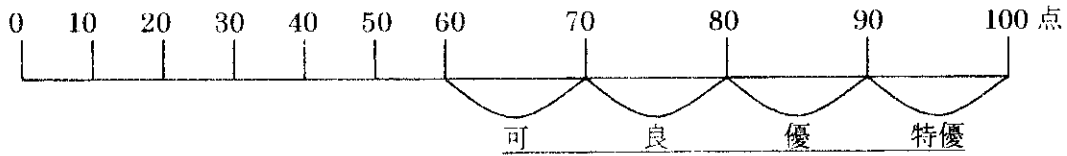


これらはいくまでも評価基準の一例であり、
 点数をつけるときに参考にさせていただく
 ためのものです。

3 患者ご本人の満足度について

患者ご本人に、以下の質問について回答してもらってください。
 ご本人が回答できない場合は、回答欄に「-1」とご記入下さい。

質問：MSW に相談をした結果について、現在の気持ちを点数にすると何点になりますか。点数は端数でも構いません (例 83 点など) 点

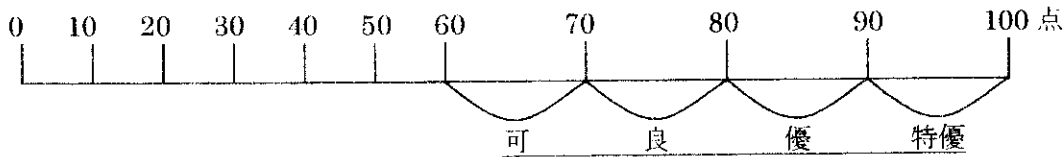


これらはいくまでも評価基準の一例であり、
点数をつけるときに参考にさせていただく
ためのものです。

4 家族・親族の満足度について

主たる家族や親族のかた1名に、以下の質問について回答してもらってください。
家族や親族がケースに全く関わらなかった場合は、回答欄に「-1」とご記入下さい。

質問：MSWに相談をした結果について、現在の気持ちを点数にすると
何点になりますか。点数は端数でも構いません（例 83点など） 点



これらはいくまでも評価基準の一例であり、
点数をつけるときに参考にさせていただく
ためのものです。

上記質問に回答した主たる家族・親戚について、該当項目をひとつ選び、
ご記入下さい。

<家族・親戚>

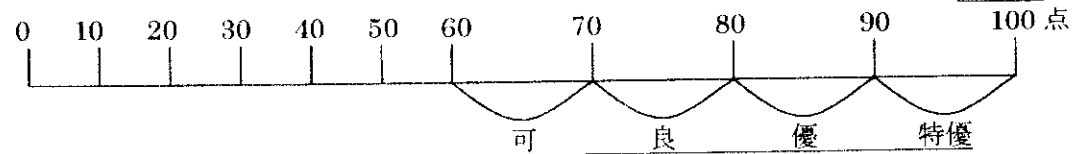
- | | | | | | |
|-----------|--------|---------|-------------|-------|------|
| 1. 夫 | 2. 妻 | 3. 息子 | 4. 娘 | 5. 父 | 6. 母 |
| 7. 兄弟 | 8. 姉妹 | 9. 息子の妻 | 10. 娘の夫 | 11. 孫 | |
| 12. 孫の配偶者 | 13. 祖父 | 14. 祖母 | 15. その他 () | | |

5 院内ケース関係者の満足度について

院内の主たるケース関係者（医師や看護婦など）1名に、以下の質問について回答
してもらってください。

院内スタッフがケースに全く関わらなかった場合は、回答欄に「-1」とご記入
下さい。

質問：当該患者にMSWが関わった内容や結果について、点数で評価すると
何点になりますか。点数は端数でも構いません（例 83点など） 点



これらはいくまでも評価基準の一例であり、
点数をつけるときに参考にさせていただく
ためのものです。

上記質問に回答した院内の主たるケース関係者について、該当項目をひとつ選び、ご記入下さい。

<院内ケース関係者>

- | | | |
|-------------------------------|--------------------------|-----------|
| 1. 同僚 MSW (医療機関に所属する社会福祉士を含む) | <input type="checkbox"/> | v.66 |
| 2. PSW (精神保健福祉士を含む) | 3. 医師 | 4. 歯科医師 |
| 5. 看護婦 | 6. 事務職員 | 7. 理学療法士 |
| 8. 作業療法士 | 9. 臨床工学士 | 10. 薬剤師 |
| 11. 放射線技師 | 12. 臨床検査技師 | 13. 栄養士 |
| 14. 臨床心理士 | 15. 視能訓練士 | 16. 言語聴覚士 |
| 17. その他の院内職員 () | | |

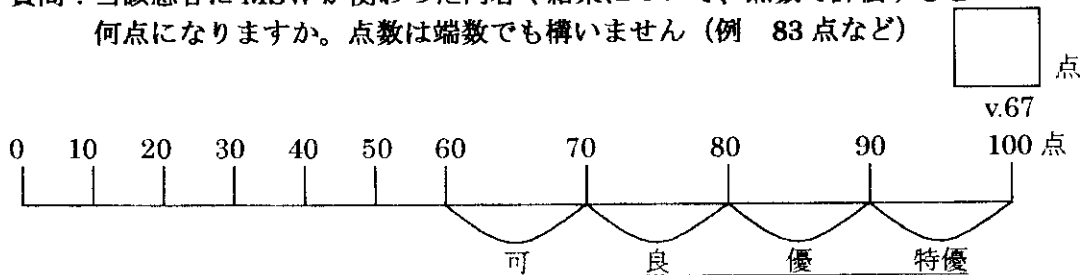
6 院外ケース関係者の満足度について

6-1 行政関係者の満足度について

院外ケース関係者のうち、行政関係者の主たる方1名に、以下の質問について回答してもらってください。

行政関係者がケースに全く関わらなかった場合は、回答欄に「-1」とご記入下さい。

質問：当該患者に MSW が関わった内容や結果について、点数で評価すると何点になりますか。点数は端数でも構いません (例 83 点など)



これらはいくまでも評価基準の一例であり、点数をつけるときに参考にさせていただくためのものです。

上記質問に回答した行政関係者について、該当項目をひとつ選び、ご記入下さい。

<行政関係者>

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---------|
| 1. 高齢福祉 | 2. 障害者福祉 | 3. 精神福祉 | 4. 児童福祉 |
| 5. 母子福祉 | 6. 生活保護 | 7. 医療保険 | 8. 医療助成 |
| 9. 年金 | 10. その他 () | | |

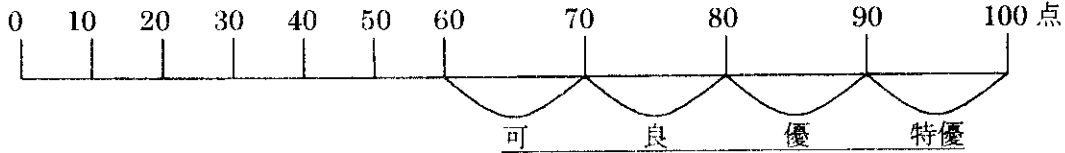
6-2 行政以外の院外ケース関係者の満足度について

院外ケース関係者のうち、行政以外の院外関係者で主たる方1名に、以下の質問について回答してもらってください。

行政以外の院外関係者がケースに全く関わらなかった場合は、回答欄に「-1」とご記入下さい。

質問：当該患者に MSW が関わった内容や結果について、点数で評価すると何点になりますか。点数は端数でも構いません（例 83 点など）

点
v.69



これらはいくまでも評価基準の一例であり、点数をつけるときに参考にしていただくためのものです。

上記質問に回答した行政以外の関係者について、該当項目をひとつ選び、ご記入下さい。 v.70

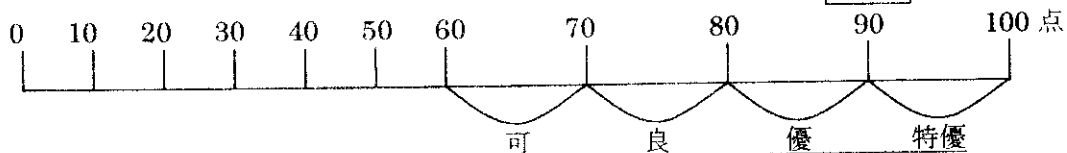
<行政以外の院外関係者>

- 1. MSW (医療機関に所属する社会福祉士を含む)
- 2. PSW (精神保健福祉士) を含む
- 3. 社会福祉士 (医療機関以外に所属)
- 4. ホームヘルパー・介護福祉士
- 5. 相談指導員 (老健施設・福祉施設)
- 6. 民生委員
- 7. 医師
- 8. 歯科医師
- 9. 看護婦
- 10. 保健婦
- 11. 助産婦
- 12. 医療機関の事務職員
- 13. 理学療法士
- 14. 作業療法士
- 15. 臨床工学士
- 16. 薬剤師
- 17. 放射線技師
- 18. 臨床検査技師
- 19. 栄養士
- 20. 臨床心理士
- 21. 視能訓練士
- 22. 言語聴覚士
- 23. 義肢装具士
- 24. 保母
- 25. 上記以外の保健・医療・福祉関連職種 ()
- 26. 職場関係者
- 27. 学校関係者
- 28. 友人・知人
- 29. 近隣
- 30. ボランティア
- 31. その他 ()

7 他者から評価を受けた後の時点における、MSW の満足度について

他者から評価を受けた後で、改めて、このコーディネートに関する MSW 自身の評価を点数でご記入下さい。点数は端数でも構いません。(例 83 点)

点
v.71



これらはいくまでも評価基準の一例であり、点数をつけるときに参考にしていただくためのものです。

D-2 コーディネート後の患者の状態・状況（ケース毎の個票）

1 傷病・障害の状態について

1-1 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳について

1-1-1 上記の手帳のいずれかを取得していますか

1. はい 2. 申請中 3. いいえ v.1
 質問1-1-2へ進む 質問1-2（2ページ）へ進む

1-1-2 手帳の種類

下記3種の手帳について、回答欄に「あり」は1、「なし」は2とご記入下さい。

※ 申請中の場合は、取得見込みのものについてお答え下さい。

手帳の種類	回答欄
	あり：1，なし：2
身体障害者手帳	v.2
療育手帳	v.3
精神障害者保健福祉手帳	v.4

複数の手帳を取得（見込みを含む）の場合、総数をご記入願います。 個 v.5

1-1-3 身障手帳の等級

身障手帳を取得している場合は、等級をご記入下さい。

※ 申請中の場合は記入しないで下さい。

級 v.6

1-1-4 身体障害の種類と数（複数選択可）

下表の障害種類の項目について、回答欄に該当は「1」、非該当は「2」とご記入下さい。申請中の場合は、認定見込みの障害種類についてお答え願います。

障害の種類	回答欄
	該当：1，非該当：2
視覚	v.7
聴覚	v.8
平衡機能	v.9
音声/言語機能	v.10
肢体不自由	上肢
	v.11
肢体不自由	下肢
	v.12
肢体不自由	体幹
	v.13
脳源性運動機能	上肢
	v.14
脳源性運動機能	移動
	v.15
内部	心臓機能
	v.16